

＜学年目標＞

学年		項目別学年目標	具体的な手立て
1年	たけやま	自分でできる子 よく聞く子 あいさつをする子 やさしい子	自分の力で最後まで取り組もうとする態度を育てる 話をしている人の方を向いて最後まで聞こうとする態度を育てる すすんで挨拶をし、心を通い合わせようとする気持ちを育てる 友だちの良さを見つけ、助け合おうとする態度を育てる
2年	たけやま	力いっぱい活動する子 人の話をさいごまで聞く子 自然を愛し、生命を尊び、ものを大切に使う子 互いの立場や存在を認め合う子	楽しく活動し、自信を持って取り組めるような学習の場を設定する 大事な事を落とさずに聞かせる 相手をしっかりと見つめさせる 自分の言動が相手をどんな気持ちにさせるか考える時間を作り、様々な個性の良さに気づかせていく
3年	たけやま	ねばり強く最後までやり通す子 人の話をさいごまで聞く子 思いやりの心を持つ子 友だちと仲良く力を合わせる子	「失敗は成功の基」失敗を前向きにとらえ、継続していくことを促す 人の話をさいごまで聴く態度を育てる やさしい言動をほめ、励ます よい行動をお互いに認め、励まし合う
4年	たけやま	めあてや目標に向かって最後までやりとげる子 自らの課題に向かって自ら学び、考えを持とうとする子 人の気持ちを考えると共に自分の行動や役割に責任を持って取り組む子 互いの立場や存在を認め合い、協力できる子	学習のめあてを明確にする。適切な助言をし、最後までやりとり通せたことを褒める。 児童が感心を持って授業に参加できるように指導方法を工夫する(課題提示の仕方、体験活動) 励ましの言葉や適切な助言をしていく。  日常的に友だちとの関わり方や友だちの良さを見つける場面を多くしていく。
5年	たけやま	心と体の健康を意識し、たくましく成長する子 自己目標を持ち、自ら課題を見つけ、最後までやりとげる子 友だちの気持ちを考え、お互いに認め合い助け合う子	家庭と連携して基本的な生活習慣の育成を目指し、運動を通して体力を養う 自己到達目標が分かるような働きかけや授業の展開を工夫し、子ども自身が「わかった・できた」という実感が持てるような工夫をしていく 「話す・聴く」を各教科・教科外で大切にして、互いに関わり合い高め合う関係を創り上げていく。
6年	たけやま	心と体の健康を意識し、たくましく成長する子  自ら課題を持ち、互いに学び合う子 相手の気持ちを考え、互いの立場や存在を認め合う子	家庭と連携して基本的な生活習慣の育成を目指す 友だちと協力して最後までやり通すねばり強さを育てる 一人ひとりが自分を肯定的にとらえ、互いに学び合い関わり合う場面を多く持つ 最高学年として行事や委員会、クラブなどで自分の行動に責任が持てるような子どもに育てる

	ま		集団活動の中で友だちと関わり合いながら互いの良さを認め合う場面を多くすることで、豊かな心を育む
--	---	--	---

<学級経営目標>

学級		項目別学年目標	具体的な手立て
竹 の 子	た	元気な子	外体育や戸外に出かける機会を増やし、体を動かす 自分が少し努力をすればできる課題を設定して成就感を持たせる 個々の児童に応じて教育環境を整え、興味関心を広げる 遊ぶ機会をつくり、子ども同士の関わりを育てる 交流教育を進め人間関係の幅を広げる
	け	がんばる子、興味関心のある子	
	や	やさしい子	
	ま	仲良くする子	